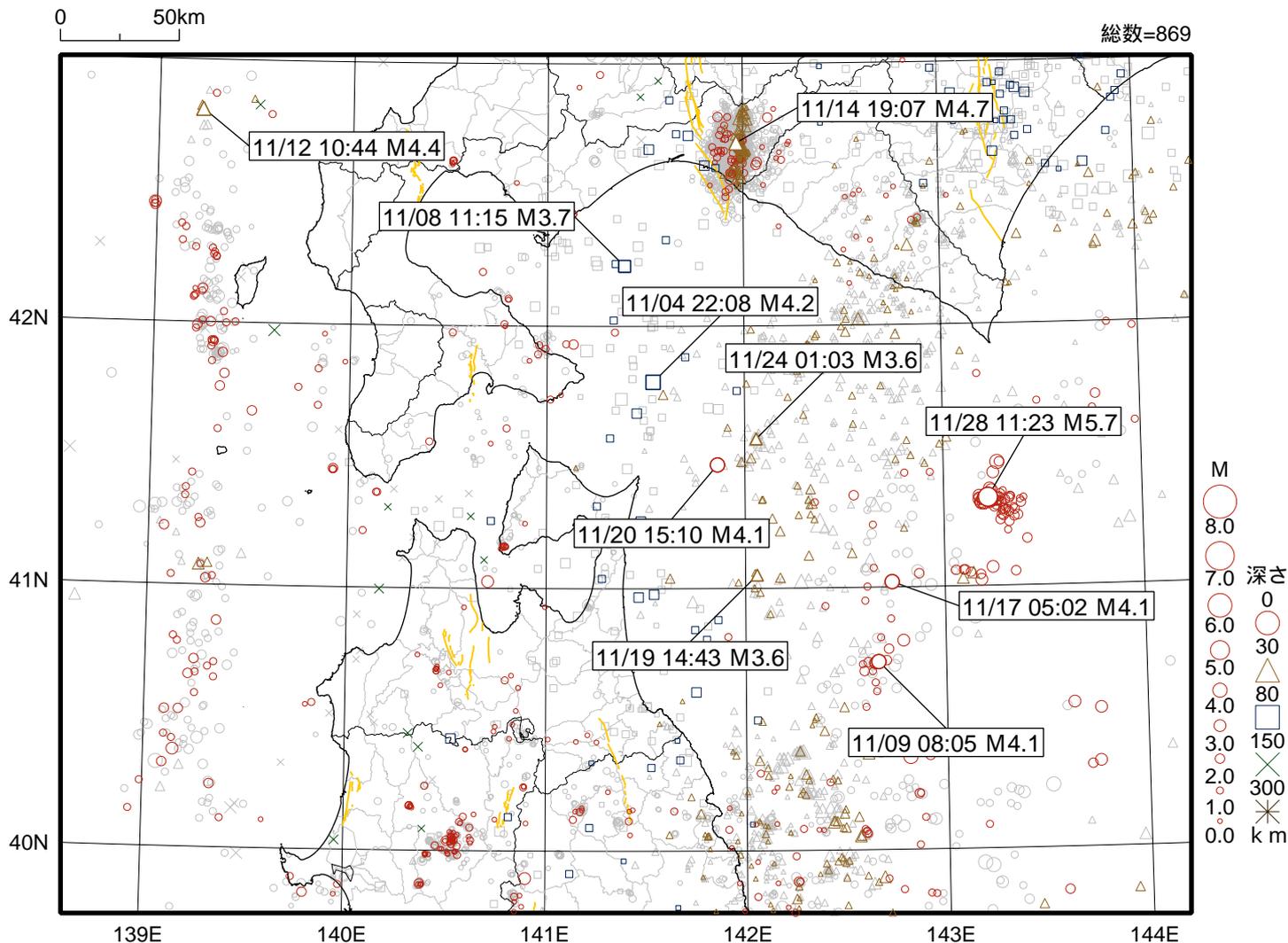


# 渡島・檜山地方の地震活動図

2018年11月1日～2018年11月30日

震央分布図

函館地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

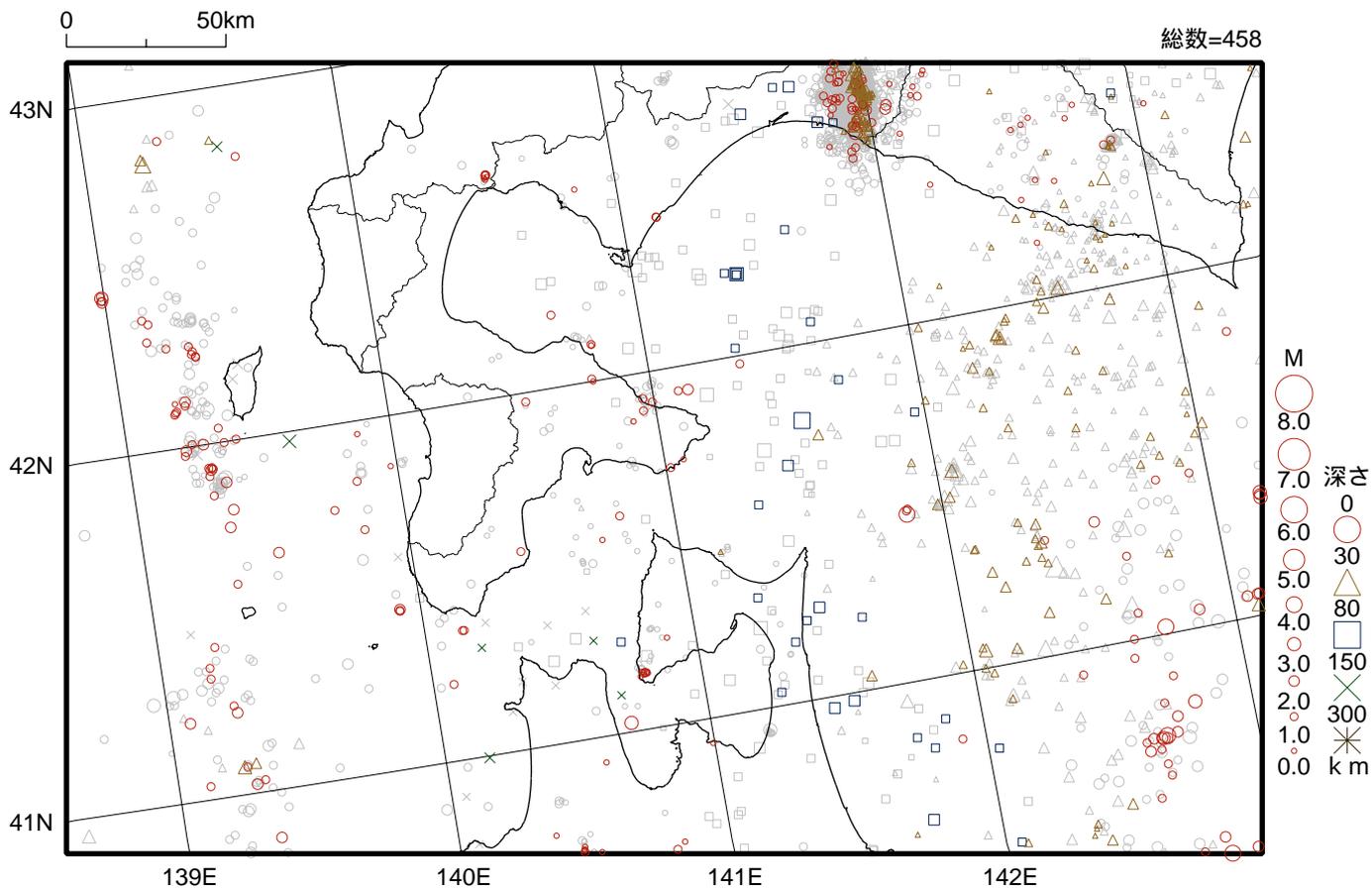
## 地震概況（2018年11月）

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は11回（前月は12回）発生しました（「渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

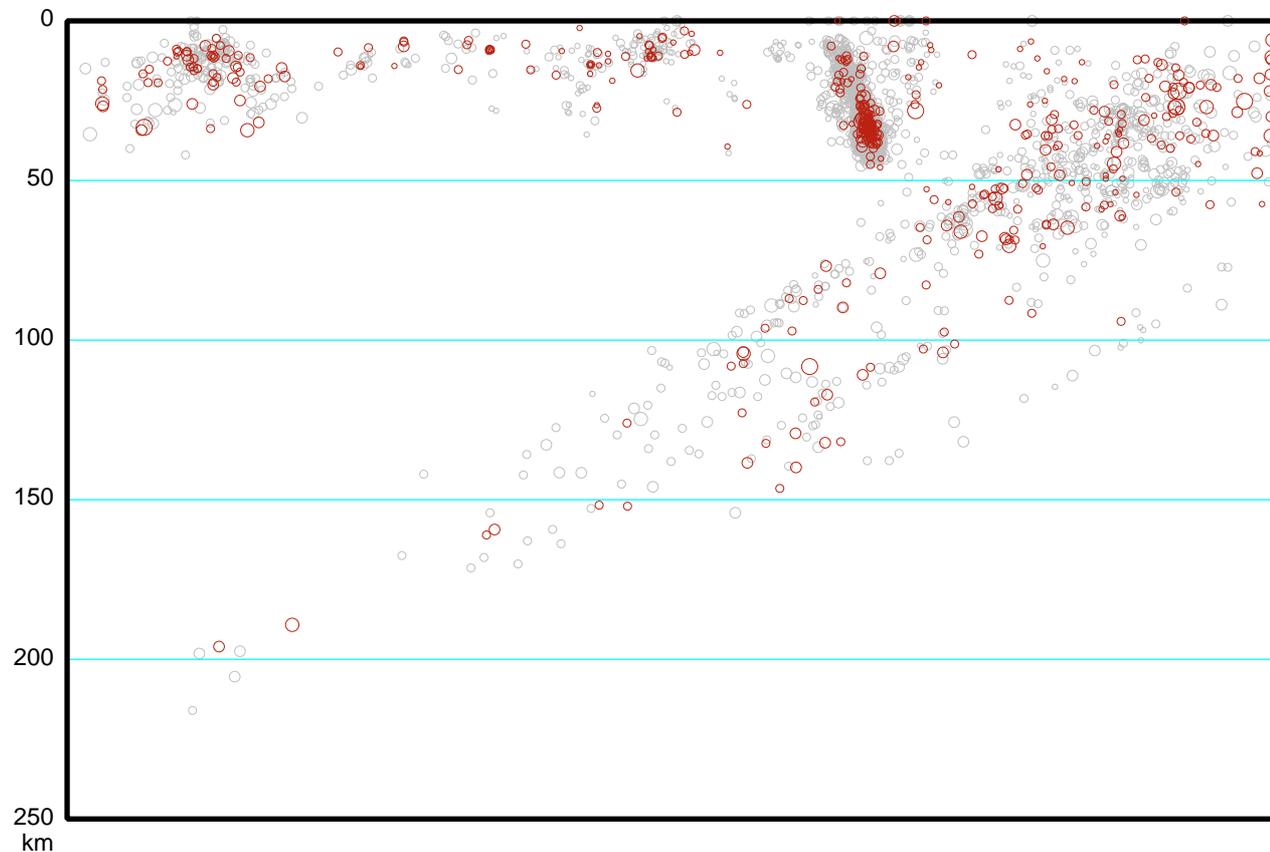
28日11時23分、青森県東方沖の地震（M5.7、深さ11km）により、函館市泊町で震度3を観測したほか、渡島・檜山地方で震度2～1を観測しました。

2018年11月1日～2018年11月30日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。  
記号Mはマグニチュードを表します。  
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

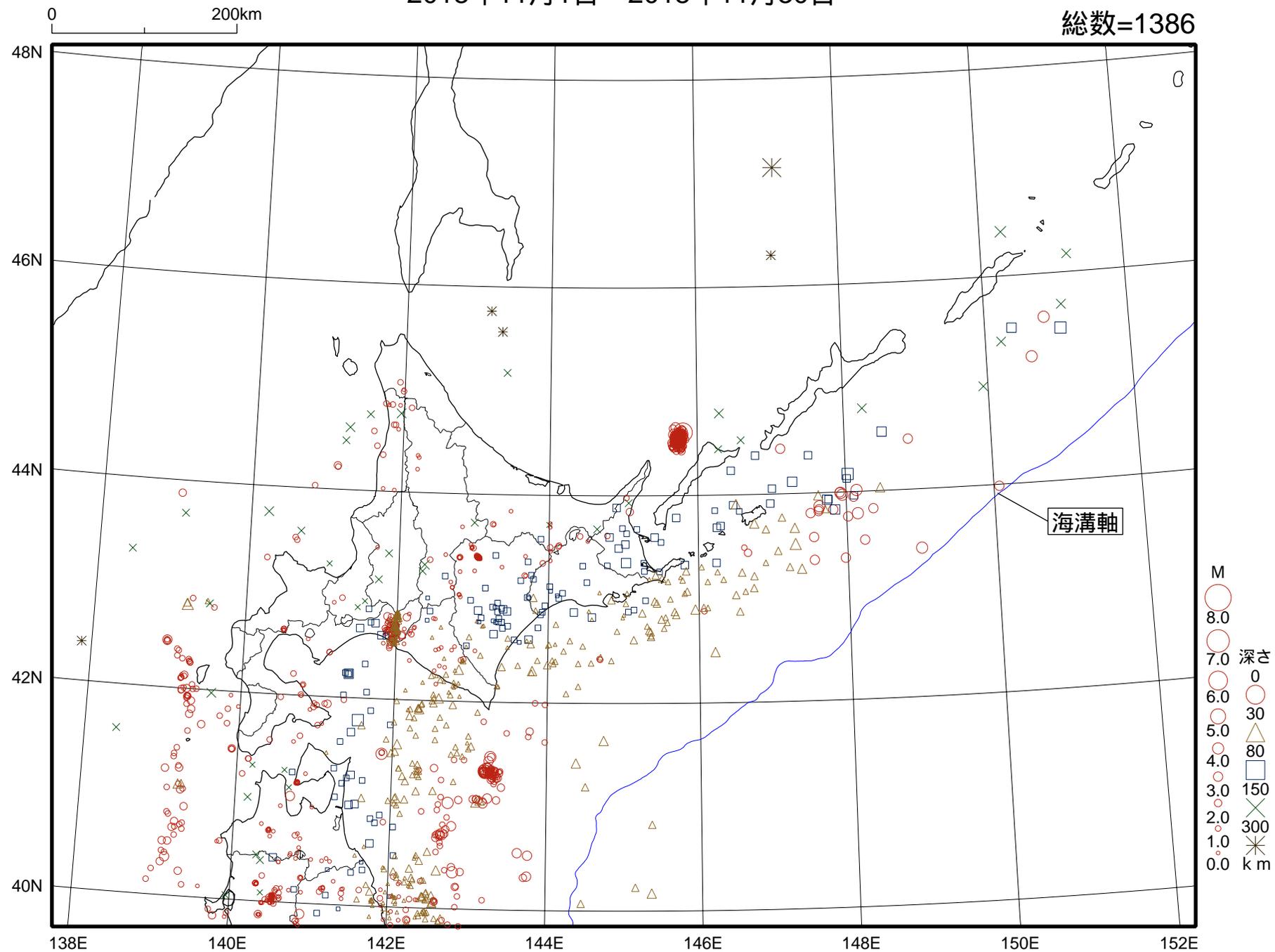
# 北海道の地震活動図

2018年11月1日 ~ 2018年11月30日

札幌管区気象台

総数=1386

震央分布図



# 渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表(2018年11月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2018年11月2日 渡島地方	20時01分 震度2 震度1	オホーツク海南部 函館市新浜町*(15) 函館市泊町*(07)	47°08.5 N	147°06.5 E	487 km	M6.1
2018年11月4日 渡島地方	22時08分 震度2 震度1	苫小牧沖 函館市泊町*(15) 函館市新浜町*(06) 函館市川汲町*(06)	41°47.2 N	141°32.2 E	108 km	M4.2
2018年11月8日 渡島地方	11時15分 震度1	苫小牧沖 函館市新浜町*(06)	42°13.7 N	141°23.5 E	104 km	M3.7
2018年11月9日 渡島地方	08時05分 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(05)	40°42.9 N	142°39.6 E	22 km	M4.1
2018年11月12日 檜山地方 渡島地方	10時44分 震度2 震度1 震度1	北海道南西沖 今金町今金*(15) せたな町瀬棚区北島歌*(12) 八雲町熊石雲石町*(09)	42°48.6 N	139°13.4 E	33 km	M4.4
2018年11月14日 渡島地方	19時07分 震度2 震度1	胆振地方中東部 函館市泊町*(21) 函館市新浜町*(20) 函館市川汲町*(16) 鹿部町宮浜*(16) 長万部町平里*(07) 函館市美原(07) 函館市尾札部町(11) 函館市日ノ浜町*(12) 七飯町桜町(05) 七飯町本町*(12) 渡島森町御幸町(11) 渡島森町上台町*(14) 渡島森町砂原*(11) 渡島北斗市本町*(08)	42°41.8 N	141°57.9 E	32 km	M4.7
2018年11月17日 渡島地方	05時02分 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(12) 函館市新浜町*(09)	41°01.2 N	142°44.0 E	27 km	M4.1
2018年11月19日 渡島地方	14時43分 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(05)	41°03.0 N	142°03.5 E	56 km	M3.6
2018年11月20日 渡島地方	15時10分 震度2 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(19) 函館市新浜町*(15) 福島町福島*(05)	41°28.2 N	141°51.7 E	28 km	M4.1
2018年11月24日 渡島地方	01時03分 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(05)	41°34.1 N	142°03.4 E	66 km	M3.6
2018年11月28日 渡島地方 檜山地方	11時23分 震度3 震度2 震度1 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(26) 函館市大森町*(16) 函館市新浜町*(23) 函館市日ノ浜町*(16) 鹿部町宮浜*(16) 渡島森町砂原*(16) 木古内町木古内*(16) 長万部町平里*(11) 函館市美原(14) 函館市尾札部町(05) 函館市川汲町*(11) 七飯町桜町(11) 七飯町本町*(08) 渡島森町御幸町(09) 渡島森町上台町*(07) 渡島北斗市中央*(14) 福島町福島*(10) 厚沢部町新町*(14)	41°20.2 N	143°13.3 E	11 km	M5.7

各地の震度は、渡島・檜山地方のみを掲載しています。

\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

セントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

( )内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

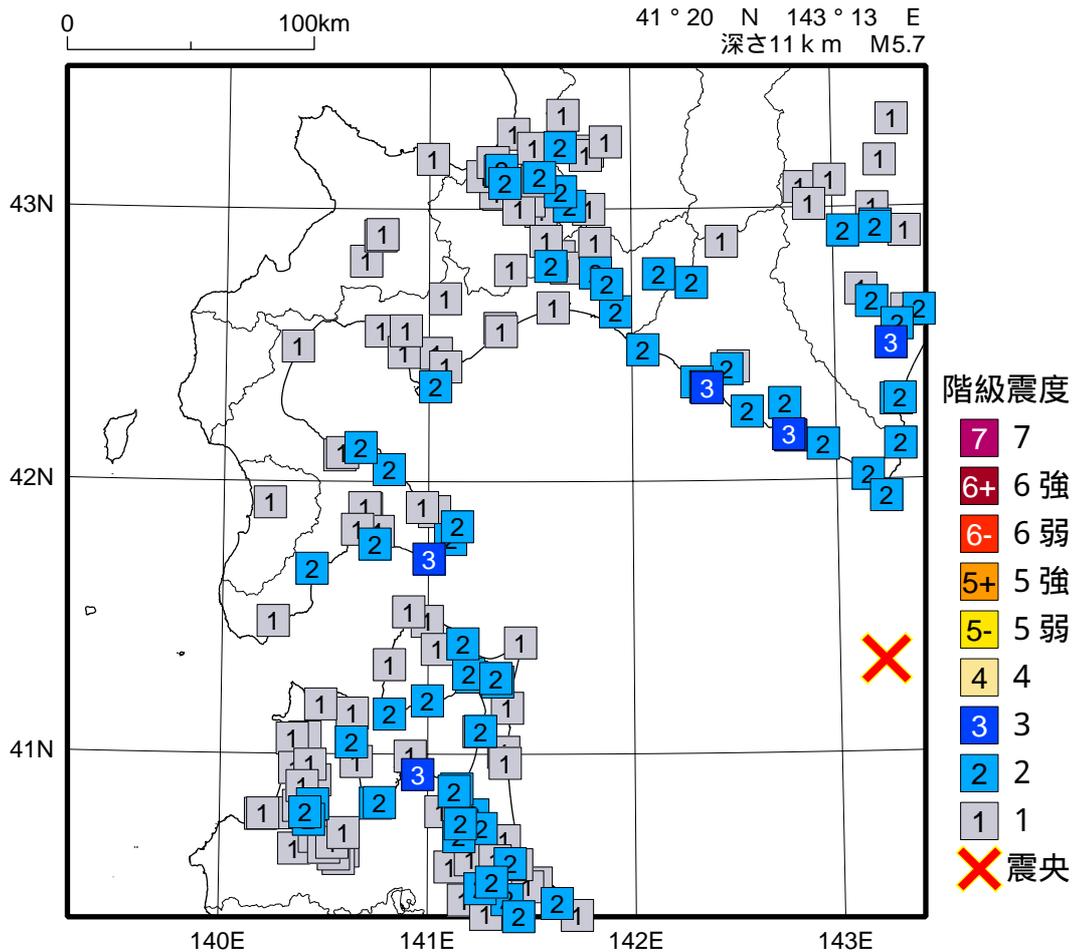
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

## 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

# 2018年11月28日11時23分 青森県東方沖の地震の震度分布図



渡島・檜山地方の震度観測点配置図

## 【防災メモ】

# ～冬の地震対策～

北海道はこれまでも、地震により多くの被害が発生していますが、地震はいつ発生するかわかりません。冬に地震が発生した場合は、積雪や寒さなどにより、夏よりも被害が大きくなるといわれています。今回は、冬に地震が発生した場合の備えについて紹介します。

### < 1. 雪に対する備え >

屋根に雪が多く積もっていると、地震の揺れによる屋根からの落雪の危険性が高くなります。また、急傾斜地では、なだれが発生しやすくなるなど、危険性が増えてきますので、地震発生時にはこれらに十分注意してください。

避難時は、積雪や凍結等の路面状況や吹雪などにより、避難所までの移動に時間がかかることがありますので、避難所の場所と経路について事前に確認をしておきましょう。



### < 2. 火災に対する備え >

冬はストーブなどの暖房器具を使用していることが多いため、火災発生の危険性が高くなります。暖房器具のそばには、地震により転倒しやすい家具や燃えやすいものを置かないようにしましょう。

また、停電復旧時の火災にも注意が必要です。停電復旧時に再び動作する際、ショートして発火することで火災が発生することがありますので、避難するときにはブレーカーを切ってから避難することが推奨されています。

### < 3. 寒さへの備え >

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられます。そのため、寒さをしのぐ準備が重要です。避難中やその後の避難生活でも必要となりますので、防寒着、毛布、使い捨てカイロなどを用意しておきましょう。

また、ポータブルの石油ストーブなどを使用する場合には、こまめに換気をして一酸化炭素中毒にならないよう気をつけてください。

### < 4. まとめ >

冬に発生する地震は、雪や火災などによる二次災害が発生しやすくなります。また、積雪や降雪により、救助活動の遅れや物資輸送が困難になることが考えられます。冬の地震の備えは、安全確保や非常持出し品のほかに、雪や寒さに対する準備も必要です。

